

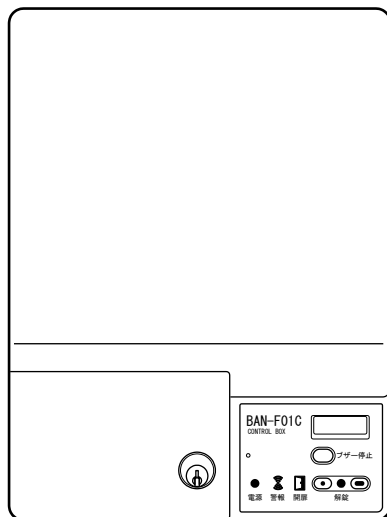


取扱説明書

電気錠制御盤

型式

BAN-F01C



工事店様へのお願い

取付・調整後、本書をお客様へお渡しください。

お客様へのお願い

ご使用前に必ず本書を最後まで読んでください。
読んだ後は手近なところに保管して必要の都度読み直してください。

梱包の内容

◆工事担当の方へ

作業前に、予め下記の機器・部品が揃っていることをお確かめください。

- | | |
|----------------------|-----|
| 1) 電気錠制御盤 BAN-F01C | 1 台 |
| 2) 鍵(No.410) | 2 本 |
| 3) 電気錠アダプター BAN-FCAD | 1 台 |
| 4) 取扱説明書(本書) | 1 冊 |
| 5) なべ丸木ねじ(4.1×25mm) | 4 本 |

安全にお使いいただくために

製品を正しくお使いいただくため、以下の注意点をよくお読みの上、設置・接続・操作を行ってください。

■工事担当者の方へ（設置時のご注意）

注意

- ・落雷や漏電による感電事故を避けるため、必ずアースをしてください。
- ・入線工事は電気工事士が行ってください。
- ・カバーを取付ける時は電源コードを挟み込まないようにしてください。
- ・取付けや結線の時などに電源部に電線クズを落とさないでください。

1. 次のような場所に設置しますと、故障や破損の原因となりますので避けてください。

- ・直射日光のあたる場所、冷暖房機の近くや屋外。
- ・湿気の多い場所や水・薬品等がかかるおそれのある場所。
- ・ごみやほこりの多い場所、有害ガスの発生する場所。

2. 装置の破損や動作異常を避けるために、ケーブルの接続、端末機器の登録は取扱説明書に従って正しく行ってください。

3. 装置を分解・改造しないでください。

4. 落としたり、強い衝撃を与えないでください。

■お客様へ（使用上のご注意）

注意

- ・濡れた手で装置をさわったり操作したりしないでください。
- ・装置を分解・改造しないでください。
- ・停電時でも施錠できるように、出入口の鍵は安全な場所に保管しておいてください。
- ・安全のために備え付けの鍵以外に合鍵を作らないでください。

★停電のときは

停電時は錠種により施錠状態になる場合がありますので、その時は鍵で解錠できるよう、あらかじめ鍵を準備しておいてください。

なお、オプションのバッテリー装置の接続により、停電後約30分間通常どおりお使いいただけます。接続機器により使用可能時間は異なります。

★動作不良、異常動作が起きたら

本装置は精密電子機器のため、外部からのノイズや雷によって、停止や、異常な動作・表示をすることがあります。異常な動作のまま放置しておくと、発熱や、装置の破損につながることもありますので、電源スイッチを切り、当社または代行店にご連絡ください。

■お問い合わせ先■

最終ページのURLから確認してください。

※アートサービス㈱と保守点検契約をされているお客様はアートサービス㈱へお問合せください。

■部品の点検・交換のお願い

製品を安心して長くお使いいただくために、保守・点検契約をお勧めいたします。

アートサービス㈱へお気軽にお問合せください。

本書の裏表紙、お問い合わせ先を参照してください。

消耗により交換が必要な部品

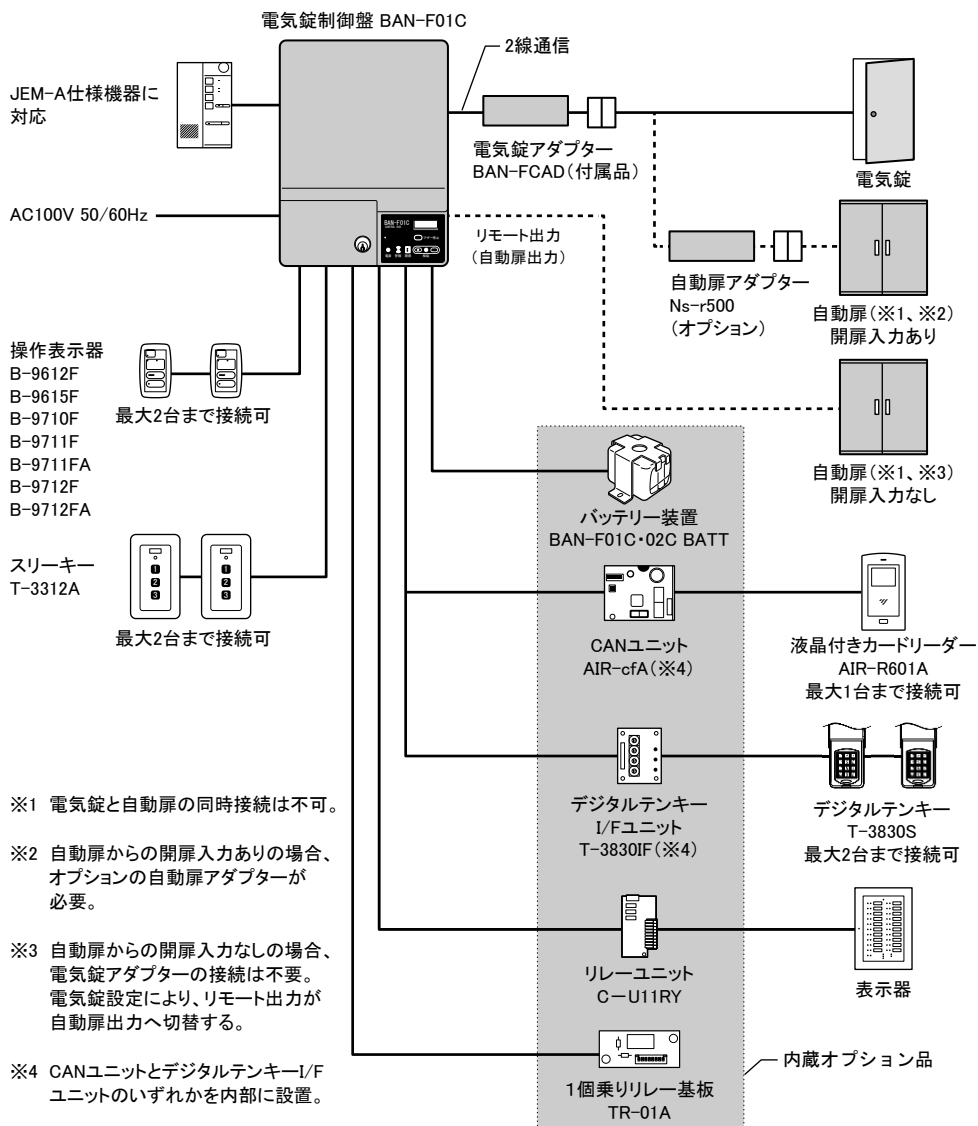
交換の際は、当社または代行店にご連絡ください。

●バッテリー装置：BAN-F01C・02C BATT
交換目安年数：3年（使用条件による）

目次

1. システム構成	1
2. 各部の名称とはたらき	3
2-1. 制御盤	3
2-2. 電気錠アダプター BAN-FCAD	4
3. 設置方法(設置の手順)	5
3-1. 制御盤の設置	5
3-2. 電気錠アダプター BAN-FCAD の設置	6
4. 接続方法	7
4-1. 端子説明	7
4-2. 電気錠と電気錠アダプターの接続	8
4-3. オプションの接続	9
4-4. 内蔵オプションの取付け	12
5. 設定方法	13
5-1. 設定手順	13
5-2. 設定モードへの切替え	14
5-3. 設定表	14
5-4. 各設定・メンテナンス項目の詳細	15
6. 運用方法	27
6-1. 運用モードの表示	27
6-2. 解錠操作	27
6-3. タイマー保留付きモードの動作	28
6-4. 簡易時刻設定	28
7. 仕様	29
8. 対応電気錠	31
9. トラブルシューティング	32
設定記入表(設定控え)	裏表紙

1. システム構成



BAN-F01Cは、マンションや住宅などの出入口の扉に取付けられた電気錠の施錠・解錠を操作する1回線用の制御盤です。多種の電気錠に対応し、オプションの操作表示器、スリーキー、テンキー、カードリーダーと組合わせてお使いいただけます。

製品の特長

- ・ 制御盤を取付けた場所から、出入口の電気錠の施錠/解錠ができます。
- ・ 扉の状態(開閉)、電気錠の状態(施錠・解錠)がアイコン表示灯で確認できます。
- ・ 電気錠動作モードを「A: 自動施錠モード」「B: 施解錠繰り返しモード」、および制御盤電源投入時にタイマー動作を一時的に保留する機能が追加された「PAモード」「PBモード」の4種から選択できます。
- ・ インターホンやHAシステム(JEM-A仕様)に対応した入出力を備えています。
- ・ 制御盤から電気錠(電気錠アダプター)までの配線は、2線無極性のため省配線化および誤配線防止が図れます。
- ・ 内蔵タイマー機能により、曜日毎に最大3種類の時間帯で電気錠を連続解錠できます。
- ・ カウンター機能により、メンテナンス時に電気錠の使用頻度やエラーの発生頻度を確認できます。

オプション

- ・ 自動扉アダプターを電気錠アダプターと自動扉間に接続することにより、自動扉の開扉入力ありの場合に対応します。
 - ・ リレーユニット C-U11RYを使用することにより、外部の警報装置などに扉や電気錠の状態を知らせることができます。
 - ・ バッテリー装置 BAN-F01C・02C BATTを内蔵することにより、停電時でも約30分間操作ができます。
 - ・ 操作表示器B-9612F、B-9615F、B-9710F、B-9711F、B-9711FA、B-9712F、B-9712FAのいずれかを最大2台まで接続できます。
 - ・ デジタルテンキーI/Fユニット T-3830IFを使用し4桁の暗証番号を認証することにより、テンキー T-3830Sを操作して電気錠の解錠ができます。なお、T-3830Sは最大2台まで接続できます。
 - ・ CANユニット AIR-cfAを使用することにより、液晶付カードリーダー AIR-R601Aを操作して電気錠の解錠ができます。なお、AIR-R601Aは最大1台まで接続できます。
 - ・ スリーキー T-3312Aを操作して電気錠の解錠ができます。なお、T-3312Aは最大2台まで接続できます。
暗証番号の登録には別途マグネットタグが必要となります。
- ※CANユニット、デジタルテンキーI/Fユニットはいずれか1つが内蔵できます。

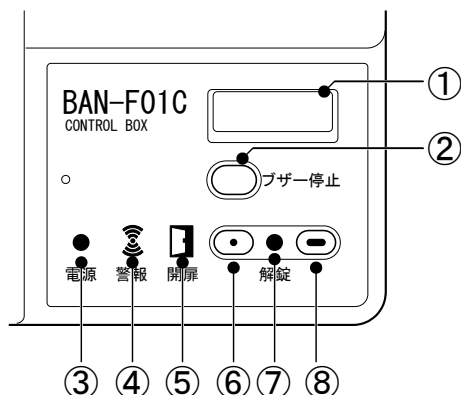
動作モードの説明

- ・ Aモード(閉扉自動施錠モード)
解錠後、扉を開閉するか、または解錠設定時間経過後に施錠します。
- ・ Bモード(施解錠繰り返しモード)
扉の開閉に関係なく、ボタン操作により施錠・解錠を繰り返します。
- ・ PAモード、PBモード
通常のAモードまたはBモードに、以下の電源投入時のタイマー保留機能が追加されます。
タイマー保留解除: ボタン操作を行う
停電復旧時など、人の操作判断が必要な場合に使用するモードです。

2. 各部の名称とはたらき

2-1. 制御盤

パネル外観・表示灯



①LCD画面

時刻およびタイマー解錠状態を表示します。また、設定時には設定内容の表示を行います。

②ブザー停止ボタン

異常(警報)発生時のブザー音を停止させます。
※ブザー音が停止するのみで異常状態は保持されます。復旧操作が必要です。

③電源表示灯(緑色) ※バッテリー運用時: 赤色

④警報アイコン表示灯(橙色)

電気錠または扉に異常が発生したときに点灯します。

⑤開扉アイコン表示灯(赤色)

扉が開いているときに点灯します。

⑥一回解錠(送り)ボタン

運用モード時: 一回解錠ボタン

Aモード…押すと電気錠を解錠します。

Bモード…押すごとに解錠/施錠を繰り返します。

設定モード時: 送りボタン

設定項目の送りを行います。

⑦施解錠表示灯(赤色・緑色・橙色※)

設定により、点灯状態が変わります。

施錠時…緑色/解錠時…赤色(出荷時設定)、または、

施錠時…消灯/解錠時…赤から選択可能

※設定時または通信エラー発生時に橙色になります。

⑧連続解錠(SET)ボタン

運用モード時: 連続解錠ボタン

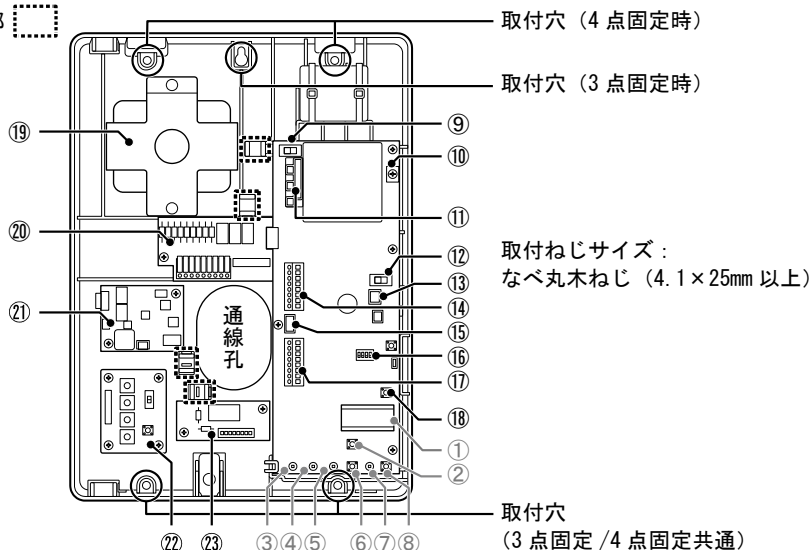
押すごとに解錠/施錠を繰り返します。

設定モード時: SETボタン

設定項目の確定を行います。

内部配置図

配線クランプ部



㊦①～⑧(灰色表示部)は本ページ「パネル外観・表示灯」参照

⑨電源スイッチ

ONにすると機器に電源が供給されます。

⑩FG端子

アース専用端子です

⑪AC電源入力端子

商用AC100Vを入力します。

⑫バッテリー設定スイッチ

バッテリー使用/未使用を切替えます(バッテリー使用時ON)。

⑬バッテリー装置用接続コネクタ

バッテリー装置のハーネスを接続します。

⑭電気錠アダプター/外部入出力用端子

電気錠アダプターおよび外部入出力(インターホン入力、リモート出力、警報出力)用の端子です。

⑮JEM-Aコネクタ

JEM-A仕様機器に対応します。

⑯DIPスイッチ

「OFF」固定。

⑰操作表示器用端子

操作表示器およびオプション機器の接続に使用する端子です。

⑱運用/設定ボタン

機器の運用と設定のモードを切替えます。

⑲バッテリー装置設置位置

オプションのBAN-F01C-02C BATTを設置する位置です。

⑳リレーユニット設置位置

オプションのC-U11RYを設置する位置です。

㉑CANユニット設置位置

オプションのAIR-cfAを設置する位置です。

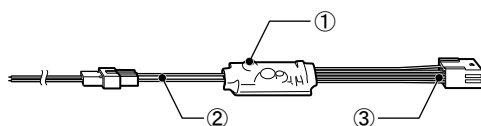
㉒デジタルテンキーI/Fユニット設置位置

オプションのT-3830IFを設置する位置です。

㉓1個乗リレー基板設置位置

オプションのTR-01Aを設置する位置です。

2-2. 電気錠アダプター BAN-FCAD



①制御部

②通信ケーブル(ジョイントハーネス付)

制御盤に接続するケーブルです。電気錠アダプター接続端子(TB2-1,2)に接続します。

③電気錠ケーブル

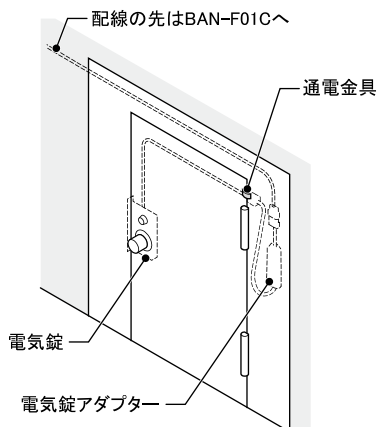
電気錠に接続するケーブルです。

3-2. 電気錠アダプター BAN-FCAD の設置

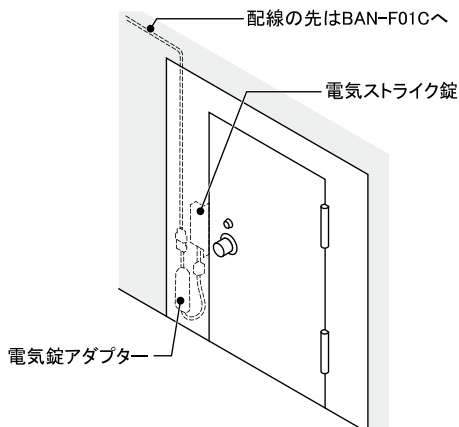
電気錠アダプターの取付けは、現場の状況により対応してください。ここでは、扉枠（電気錠、電気ストライク錠）と扉内への取付け例を以下に示します。

●扉枠に電気錠アダプターを収納する場合

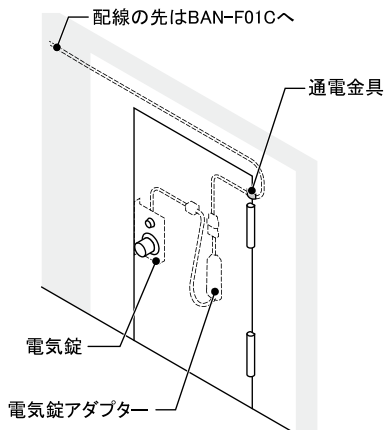
電気錠のとき



電気ストライク錠のとき



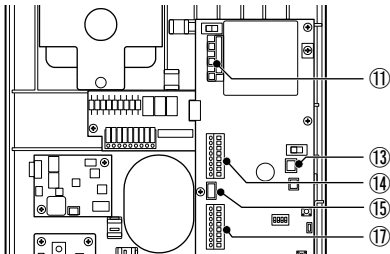
●扉内に電気錠アダプターを収納する場合



※アダプターの配線に対して、張力を加えないようにしてください。なお、メンテナンスのため必ず電気錠アダプターは取り出せる場所に設置してください。

4. 接続方法

4-1. 端子説明



AC電源入力端子 (⑪)

1		AC100V	AC100V 50/60Hz
2			
3	FG		

電気錠アダプター/外部入出力用端子TB2 (⑭)

8	リモート出力 (自動扉出力)	白	無電圧a接点
7		白	接点容量: DC24V、0.3A以下
6	警報出力	灰	無電圧a接点 (連続)
5		灰	接点容量: DC24V、0.3A以下
4	インターホン入力	白	無電圧a接点 (ワンショット/連続)
3		白	接点容量: DC24V、0.1A以上
2	電気錠アダプター	灰	電源重畳: 無極性
1		灰	

操作表示器用端子TB1 (⑰)

8	+24V出力	赤	COM DC24V
7	連続解錠入力 (ワンショット)	茶	瞬時 (0.2秒以上) メイク時解錠
6	一回解錠入力	緑	瞬時 (0.2秒以上) メイク時一回解錠
5	連続解錠入力 (連続)	灰	連続メイク時解錠
4	電源表示出力	黒	GND
3	解錠表示 (緑)	橙	DC24V、30mA以下
2	解錠表示 (赤)	黄	DC24V、30mA以下
1	開扉表示	白	DC24V、30mA以下

※外部からの1つの入出力により、複数の制御盤を同時に動かすことはできません。

JEM-Aコネクタ (⑮)

1		制御入力	JEM-A対応機器を接続します。 日本電機工業会規格「HA端子 (JEM-A) JEM1427」に準拠。
2		無電圧a接点 接点容量: DC24V 0.1A以上	
3		モニター信号 (スタティック信号)	
4		接点容量: DC24V 0.3A以下	

バッテリー装置用接続コネクタCN2 (⑬)

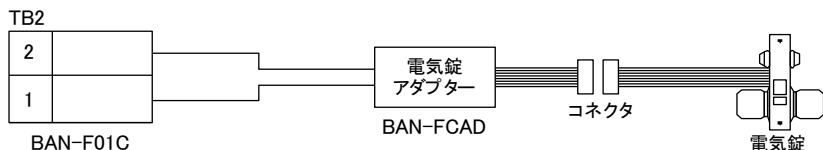
1	+24V入力	DC24V
2	GND	

4-2. 電気錠と電気錠アダプターの接続

電気錠アダプターの電気錠ケーブル側のコネクタは直接接続するか、それ以外は配線を切断して各電気錠に接続します。

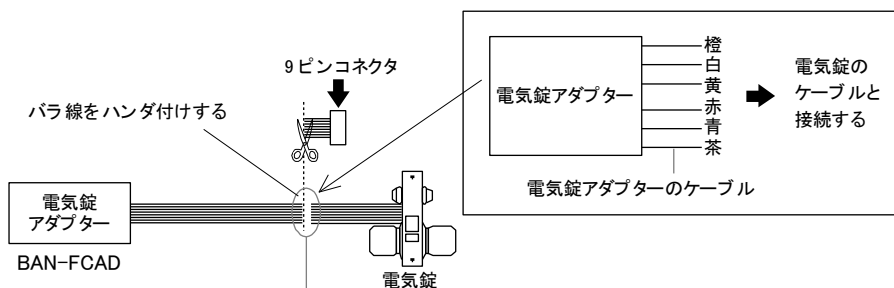
●美和ロック株式会社、株式会社シブタニ、株式会社ウエストの場合

コネクタ同士を直接接続します。



●美和ロック株式会社、株式会社シブタニ、株式会社ウエスト以外の場合

コネクタの配線を切断し、バラ線同士を電気錠側のケーブルと接続します。



電気錠に接続するコネクタを切断して、下表の電線をそれぞれハンダ付けの上、絶縁処理を行ってください。

“－”は使用しない線となります。使用しない線も必ず絶縁処理を行ってください。

		電気錠アダプター						
		橙	白	黄	黒	赤	茶	青
株式会社ゴール	EUT, EUTP, EUR, EURP	青	白	茶	－	黄	赤	緑
	EST, ELT, ESTP, ELTP, ESM, ELM, ESB, ELB, EXM, ESR, ELR, ESRP, ELRP	青	白	－	－	茶	緑	赤
	CMT, CMR	黒	橙	－	青	黄	緑	赤
	EXS, EZS	緑	白	橙	－	黄	茶	赤
	AHEM, EM, SXE	青	白	茶	－	黄	赤	緑
合資会社堀商店	6110, 6120, 6210, 6220	灰	白	－	－	青	黒	赤
	6112, 6122, 6212, 6222	灰	白	－	－	青	黒	黄
	3103, 3106	灰	白	－	茶	青	黒	赤
	3123, 3126	灰	白	－	茶	青	黒	黄
	6111, 6121, 6211, 6221	灰	白	緑	－	青	赤	黄
株式会社ユーシン・ショウワ	EMX	黄	緑	柿	－	青	黒	赤
ロックマンジャパン株式会社	LC-4500DLSS	灰	白	－	緑	橙	黄	茶

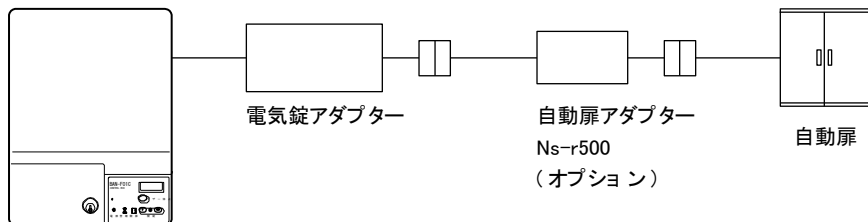
4-3. オプションの接続

設定については対象装置の取扱説明書をご参照ください。

①自動扉

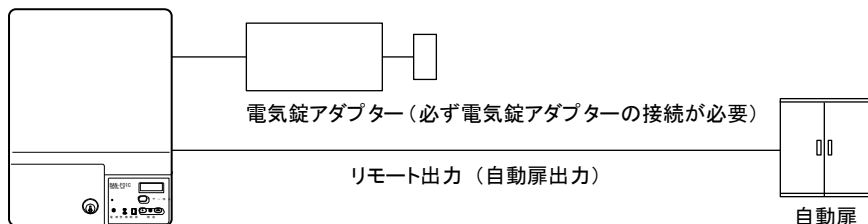
(1)開扉入力ありの場合

電気錠アダプターの先に自動扉アダプターを接続し、自動扉アダプターからの接点出力を使用する。



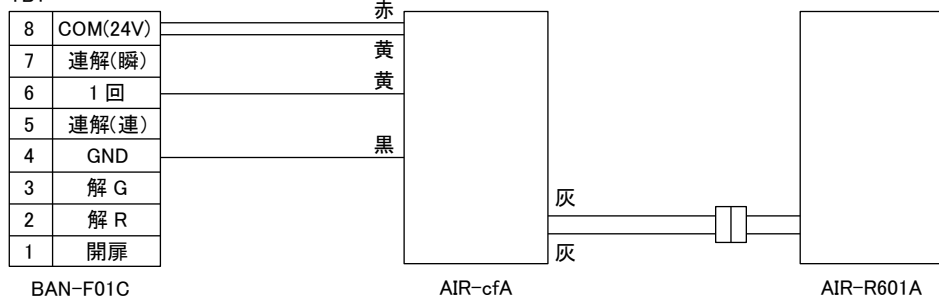
(2)開扉入力なしの場合

リモート出力(自動扉出力)からの接点出力を使用する。



②液晶付カードリーダー AIR-R601A

TB1



※未使用配線は絶縁処理をしてください。

③デジタルテンキー T-3830S

TB1

8	COM(24V)
7	連解(瞬)
6	1 回
5	連解(連)
4	GND
3	解 G
2	解 R
1	開扉

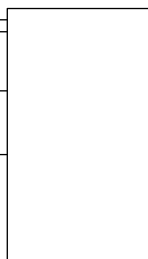
BAN-F01C

赤

黄

黄

黒



T-3830IF

灰

灰



T-3830S

※未使用配線は絶縁処理をしてください。

④操作表示器(B-96 シリーズ)

対象操作表示器: B-9612F/B-9615F

TB1

8	COM(24V)
7	連解(瞬)
6	1 回
5	連解(連)
4	GND
3	解 G
2	解 R
1	開扉

BAN-F01C

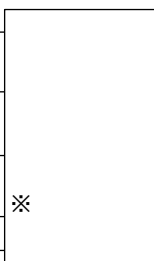
黒

緑

赤

黄

白



B-9612F

TB1

8	COM(24V)
7	連解(瞬)
6	1 回
5	連解(連)
4	GND
3	解 G
2	解 R
1	開扉

BAN-F01C

黒

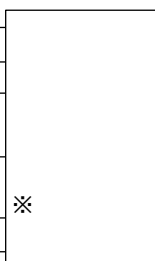
茶

緑

赤

黄

白



B-9615F

※施解錠表示灯設定を「解錠時: 緑色」の設定にした場合は、黄配線をTB1の3(解G)へ接続してください。

⑤操作表示器(B-97 シリーズ)

対象操作表示器: B-9710F/B-9711F/B-9711FA/B-9712F/B-9712FA

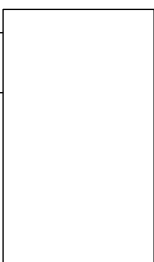
TB1

8	COM(24V)
7	連解(瞬)
6	1 回
5	連解(連)
4	GND
3	解 G
2	解 R
1	開扉

BAN-F01C

橙

茶



B-9710F

TB1

8	COM(24V)
7	連解(瞬)
6	1 回
5	連解(連)
4	GND
3	解 G
2	解 R
1	開扉

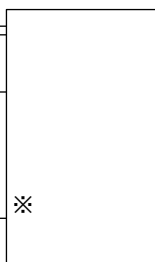
BAN-F01C

橙

赤

茶

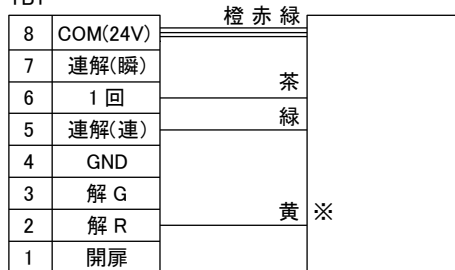
黄



B-9711F

※施解錠表示灯設定を「解錠時: 緑色」の設定にした場合は、黄配線をTB1の3(解G)へ接続してください。

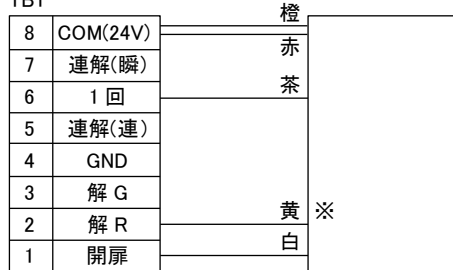
TB1



BAN-F01C

B-9711FA

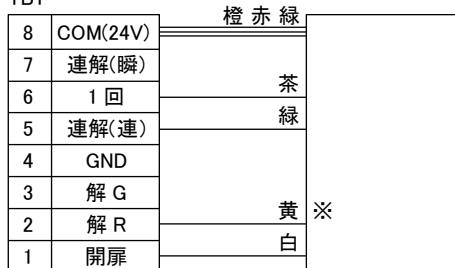
TB1



BAN-F01C

B-9712F

TB1



BAN-F01C

B-9712FA

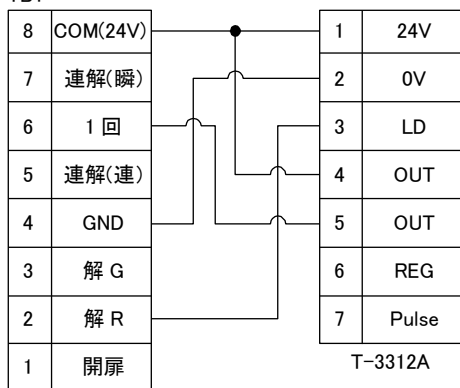
連解を端子台ジャンパーで連続入力に設定。

※施錠表示灯設定を「解錠時：緑色」の設定にした場合は、黄配線をTB1の3(解G)へ接続してください。

⑥スリーキー T-3312A

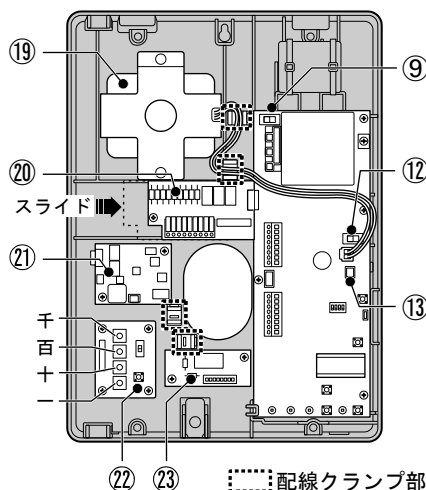
下図は表示灯を解錠に設定する場合の接続です。表示灯を施錠に設定する場合は、TB1の2(解R)をTB1の3(解G)に接続します。

TB1



BAN-F01C

4-4. 内蔵オプションの取付け



●バッテリー装置 BAN-F01C・02C BATT

1. 制御盤内のバッテリー設置位置(19)にバッテリークッションを貼り、バッテリー装置を置きます。
バッテリー装置は、制御盤への接続用ハーネスが右側に来るように設置してください。
2. バッテリー装置付属の取付金具を用いてバッテリー装置を固定します。
3. 制御盤の電源スイッチ(9)をOFFにします。
4. バッテリー装置の接続用ハーネスをメイン基板のバッテリー装置用接続コネクタ(13)に挿し込みます。
5. ケースの配線クランプを利用してハーネスを固定します。
6. バッテリー設定スイッチ(12)をONにします。
7. 制御盤の電源スイッチ(9)をONにします。

●1個乗リリレー基板 TR-01A

1. 1個乗リリレー基板に付属している固定用の足部分(両面テープ付)×2点を取外します。
2. 設置位置(23)に基板を配置し、M3タッピン×5～7mm(別途用意)で2箇所の樹脂支柱に固定します。
接続は、接続先の機器によって異なります。1個乗リリレー基板に付属の接続図を参照してください。
3. ケースの配線クランプを利用して配線を固定します。

●デジタルテンキーIFユニット T-3830IF(取付金具不要)

1. IFユニットの下側の基板を基板設置位置(22)にある4箇所の樹脂支柱に挿込みます。
注)下側の基板がケースから出ている爪でしっかり固定される位置まで挿込んでください。
2. 上段の基板(ロータリースイッチ付)を下側基板を挿込みした樹脂支柱の上に固定し、M2.6タッピン×5～7mm(別途用意)で4箇所固定します。
注)上段の基板は、ロータリースイッチが上から千・百・十・一の位となるように取付けてください。
☞ 接続について⇒「4-3. オプションの接続」③デジタルテンキー T-3830S参照
3. ケースの配線クランプを利用して配線を固定します。

●CANユニット AIR-cfA

1. 設置位置(21)にある2箇所の樹脂支柱にM3タッピン×5～7mm(製品に付属)で固定します。
☞ 接続について⇒「4-3. オプションの接続」②液晶付カードリーダー AIR-R601A参照
2. ケースの配線クランプを利用して配線を固定します。

●リレーユニット C-U11RY

1. 制御盤の基板側面にある専用コネクタに接続し、(20)の位置に取付けします。
上図にあるように左から右へ基板をスライドさせ、コネクタを挿込んでください。
2. コネクタがしっかり固定されたことを確認した後、付属の取付ねじで1箇所の樹脂支柱に固定します。
3. ケースの配線クランプを利用して配線を固定します。

5. 設定方法

5-1. 設定手順

以下の手順にて制御盤の基本の設定を行ってください。

1

電気錠アダプターを接続する

制御盤に電気錠アダプターを接続します。

☞詳細は「4-2. 電気錠と電気錠アダプターの接続」参照

2

電源をONにする

制御盤の電源をONにします。

☞詳細は「2-1. 制御盤」内部配置図⑨参照

3

設定モードに切替える

運用/設定ボタンを長押しし、設定モードに切替えます。

☞詳細は「5-2. 設定モードへの切替え」参照

4

電気錠種の設定をする

接続した電気錠に応じて、電気錠種を設定します。

☞詳細は「5-4. 各設定・メンテナンス項目の詳細」参照

5

運用モードに戻る

運用/設定ボタンを押し、運用モードに戻ります。

☞詳細は「5-2. 設定モードへの切替え」参照

6

動作テストをする

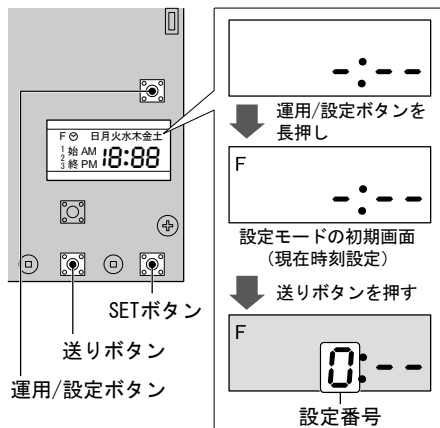
設定した回線が盤面から正しく解錠するかどうか確認します。

☞詳細は「6-2. 解錠操作」参照

※オプション利用時は、オプションの接続前に一度動作テストを確認し、オプションの接続後にもう一度動作テストを行ってください。

5-2. 設定モードへの切替え

制御盤の設定は設定モードに切替えてから行います。制御盤のカバーを開き、以下の手順で設定モードに切替えてください。



1. 運用/設定ボタンを長押しし、「ピー」と2秒鳴動したらボタンを離す

「ビッビー」と鳴動し、設定モードに切替わります。設定モード中は、LCD画面に「F」が表示されます。

2. SETボタンまたは送りボタンを押す

SETボタンを押した場合：

現在時刻設定の画面が切替わります。

送りボタンを押した場合：

設定番号の選択ができます。番号を選択してSETボタンを押すと、該当の設定画面に切替わります。

3. 設定が終わったら、運用/設定ボタンを押す

運用モードに戻ります。

※各設定が反映されるタイミングは、次の設定画面に遷移するとき、または該当の設定画面に切替わった状態で運用モードに戻るときです。

5-3. 設定表

設定番号	設定項目	工場出荷時設定値		説明ページ
—	現在時刻設定	表示なし	-:-	P.15
0	タイマーによる解錠設定	設定なし	0:-	P.16
1	ブザー音有無設定	ブザー音有効	1:ON	P.17
2	動作モード設定	Aモード	2:-A	P.18
3	電気錠種設定	通電時解錠型電気錠 20万回警告なし	3:-0 R:FF	P.19
4	解錠時間設定	10秒	4:10	P.20
5	開扉警報時間設定	30秒	5:30	P.20
6	施錠表示灯設定	施錠時：緑色、解錠時：赤色	6:-1	P.21
7	停電時解錠設定	停電時解錠なし	7:FF	P.21
8	制御盤⇄電気錠アダプター通信テスト	—		P.22
9	セルフチェック	—		P.22
10	電気錠動作回数カウント表示	0回	10:-	P.23
11	解錠不良回数カウント表示	0回	11:-	P.23
12	施錠不良回数カウント表示	0回	12:-	P.24
13	開扉警報回数カウント表示	0回	13:-	P.24
14	こじあげ回数カウント表示	0回	14:-	P.25
15	電気錠動作回数リセット	—		P.25
16	全警報回数リセット	—		P.26
17	—	—	—	—
18	オプション設定	オプションなし	18:FF	—

5-4. 各設定・メンテナンス項目の詳細

現在時刻設定

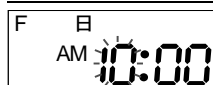
現在時刻が設定されている場合には、運用モード時のLCD画面に現在時刻が表示されます。

●設定手順

1. 設定画面表示

設定画面を表示し、SETボタンを押します。時が変更可能な状態になります（時表示が点滅）。

➡ 設定画面の表示方法⇒「5-2. 設定モードへの切替え」参照



2. 時設定

送りボタンを押して時を選択します。送りボタンを押すたびに時が切替わります。

選択し終わったら、SETボタンを押します。時設定が確定し、分の10の位が変更可能な状態になります（分表示の10の位が点滅）。

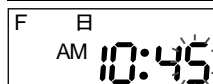
※時刻をクリアする場合は、「-:--」を選択し、SETボタンを押してください。



3. 分設定(10の位)

送りボタンを押して分の10の位を選択します。送りボタンを押すたびに分の10の位が切替わります。

選択し終わったら、SETボタンを押します。分設定(10の位)が確定し、分の1の位が変更可能な状態になります（分表示の1の位が点滅）。



4. 分設定(1の位)

送りボタンを押して分の1の位を選択します。送りボタンを押すたびに分の1の位が切替わります。

選択し終わったら、SETボタンを押します。分設定(1の位)が確定し、曜日が変更可能な状態になります（曜日表示が点滅）。



5. 曜日設定

送りボタンを押して曜日設定を選択します。送りボタンを押すたびに曜日が切替わります。

選択し終わったら、SETボタンを押します。SETボタンを押した時点で、秒カウントが0秒に設定されます。

▶続けて他の項目を設定する場合は

送りボタンを押して設定する項目の画面に切替えてください。

▶設定を完了して運用モードに戻る場合は

運用/設定ボタンを押してください。

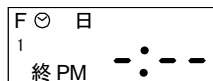
●設定手順

1. 設定画面表示

設定画面を表示し、送りボタンを押して「0」を選択し、SETボタンを押します。日曜タイマー1の開始時刻が表示され（未設定時は“--:--”表示）、施解錠表示灯が点灯します。

☛ 設定画面の表示方法⇒「5-2. 設定モードへの切替え」参照

※設定されたタイマーを削除する場合は、未設定時の表示（“--:--”）と同じ状態にしてください。



例：日曜タイマー1を選択した状態

2. タイマー選択

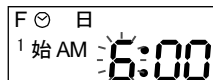
送りボタンを押して設定するタイマーの「終」表示にします。送りボタンを押すたびに以下の順で選択状態が切替わります。

日曜タイマー1の「始」→「終」→日曜タイマー2の「始」→「終」→日曜タイマー3の「始」→「終」→月曜タイマー1の「始」→「終」… →土曜タイマー2の「始」→「終」→土曜タイマー3の「始」→「終」→タイマー未選択表示

選択し終わったら、SETボタンを押します。選択したタイマーの開始時刻が表示され、時が変更可能な状態になります（時表示が点滅）。

※「終」表示のタイマーが設定対象となります。

※タイマー未選択表示のときは、F表示と“--:--”表示のみとなります。ここでSETボタンを押すと手順1、送りボタンを押すと手順2に戻ります。



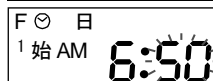
3. 開始時刻の時設定

送りボタンを押して開始時刻の時を選択します。送りボタンを押すたびに以下の順で時の選択状態が切替わります。

“AM0”→“AM1”→“AM2”… “AM11”→“PM0”→“PM1”→“PM2”… “PM11”→“--:--”

選択し終わったら、SETボタンを押します。選択した時が確定し、分が変更可能な状態になります（分表示が点滅）。

※“--:--”表示時にSETボタンを押すと開始/終了時刻ともに未設定になります。



4. 開始時刻の分設定

送りボタンを押して開始時刻の分を選択します。送りボタンを押すたびに5分単位で進みます。

選択し終わったら、SETボタンを押します。選択した分が確定し、終了時刻の時が変更可能な状態になります（時表示が点滅）。

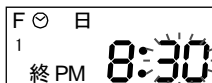


5. 終了時刻の時設定

送りボタンを押して終了時刻の時を選択します。送りボタンを押すたびに以下の順で時の選択状態が切替わります。

“AM0”→“AM1”→“AM2”… “AM11”→“PM0”→“PM1”→“PM2”… “PM11”→“PM12”

選択し終わったら、SETボタンを押します。選択した時が確定し、分が変更可能な状態になります（分表示が点滅）。



6. 終了時刻の時設定

送りボタンを押して終了時刻の分を選択します。送りボタンを押すたびに5分単位で進みます。

選択し終わったら、SETボタンを押します。選択した分が確定し、タイマーの設定状況が表示されます。

※手順2に戻りますので、必要に応じて手順2～6を繰返して、タイマーの再設定や別に設定するタイマーの設定を行ってください。

▶続けて他の項目を設定する場合は

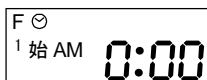
送りボタンを押して設定する項目の画面に切替えてください。

▶設定を完了して運用モードに戻る場合は

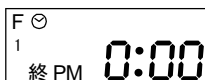
運用/設定ボタンを押してください。

12:00設定に関する注意事項

「12:00」は、AMとPMで以下の時間を表します。



深夜0:00を表します。



正午0:00を表します。

タイマーの時間について

終了時刻は59秒までの解錠となります。例えば、終了時刻を9:00とした場合なら、“9:00:59”までの解錠となります。

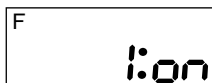
1:ブザー音有無設定

●設定手順

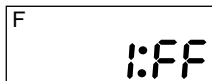
1. 設定画面表示

設定画面を表示し、送りボタンを押して「1」を選択し、SETボタンを押します。

☞ 設定画面の表示方法⇒「5-2. 設定モードへの切替え」参照



「有り」を選択した場合



「無し」を選択した場合

2. ブザー音有無設定

送りボタンを押してブザー音の有無を選択します。送りボタンを押すたびに選択状態が切替わります。

設定	説明
有り	ブザー音が鳴動します。
無し	ブザー音は鳴動しません。

選択し終わったら、SETボタンを押して設定を完了します。

▶続けて他の項目を設定する場合は

送りボタンを押して設定する項目の画面に切替えてください。

▶設定を完了して運用モードに戻る場合は

運用/設定ボタンを押してください。

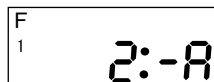
2:動作モード設定

●設定手順

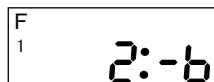
1. 設定画面表示

設定画面を表示し、送りボタンを押して「2」を選択し、SETボタンを押します。

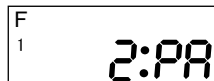
☞ 設定画面の表示方法⇒「5-2. 設定モードへの切替え」参照



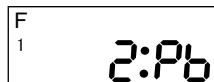
Aモードにする場合



Bモードにする場合



PAモードにする場合



PBモードにする場合

2. 動作モード設定

送りボタンを押して動作モードを選択します。送りボタンを押すたびに選択状態が切替わります。

選択し終わったら、SETボタンを押して設定を完了します。

▶続けて他の項目を設定する場合は

送りボタンを押して設定する項目の画面に切替えてください。

▶設定を完了して運用モードに戻る場合は

運用/設定ボタンを押してください。

PAモード、PBモード

通常のAモードまたはBモードに、以下の電源投入時のタイマー保留機能が追加されます。

タイマー保留解除: ボタン操作を行う

停電復旧時など、人の操作判断が必要な場合に使用するモードです。

3:電気錠種設定

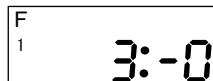
電気錠種の設定に続いて、20万回以上警告の有無を設定します。

●設定手順

1. 設定画面表示

設定画面を表示し、送りボタンを押して「3」を選択し、SETボタンを押します。

☞ 設定画面の表示方法⇒「5-2. 設定モードへの切替え」参照



例: 通電時解錠型電気錠

2. 電気錠種設定

送りボタンを押して電気錠種を選択します。送りボタンを押すたびに選択状態が切替わります。

電気錠種	番号
通電時解錠型電気錠	0
通電時解錠型電気ストライク	1
通電時施錠型電気錠	2
通電時施錠型電気ストライク	3
モーター式施解錠型本締電気錠	4
瞬時通電施解錠型電気錠	5
電磁錠	6
自動扉(開扉あり)	7
自動扉(開扉なし)	8

選択し終わったら、SETボタンを押します。設定が確定し、選択した電気錠に20万回以上警告の有無を設定する状態になります。



「有り」を選択した場合



「無し」を選択した場合

3. 20万回以上警告設定

送りボタンを押して20万回以上警告の有無を選択します。送りボタンを押すたびに選択状態が切替わります。

設定	説明
有り	警告が表示されます。
無し	警告は表示されません。

選択し終わったら、SETボタンを押して設定を完了します。

▶続けて他の項目を設定する場合は

送りボタンを押して設定する項目の画面に切替えてください。

▶設定を完了して運用モードに戻る場合は

運用/設定ボタンを押してください。

20万回以上警告について

動作回数が20万回以上になるとメンテナンスを促す警告を表示します。開扉表示灯が1分間隔で10秒点滅表示します。電気錠使用回数カウント表示を確認すると警告が消え、10万回後に再度警告が発生します。※メンテナンスの目安としてお考えください。



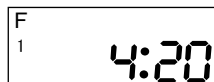
4: 解錠時間設定

●設定手順

1. 設定画面表示

設定画面を表示し、送りボタンを押して「4」を選択し、SETボタンを押します。

☞ 設定画面の表示方法⇒「5-2. 設定モードへの切替え」参照



例:「20秒」を選択した場合

2. 解錠時間設定

送りボタンを押して時間を選択します。送りボタンを押すたびに以下の順で時間の選択状態が切替わります。

“1秒”→“5秒”→“10秒”→“20秒”→“30秒”→“60秒”

※出荷時設定:10秒

選択し終わったら、SETボタンを押して設定を完了します。

▶続けて他の項目を設定する場合は

送りボタンを押して設定する項目の画面に切替えてください。

▶設定を完了して運用モードに戻る場合は

運用/設定ボタンを押してください。

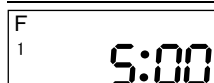
5: 開扉警報時間設定

●設定手順

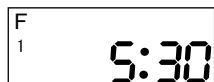
1. 設定画面表示

設定画面を表示し、送りボタンを押して「5」を選択し、SETボタンを押します。

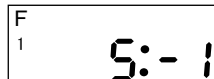
☞ 設定画面の表示方法⇒「5-2. 設定モードへの切替え」参照



例:「0秒」を選択した場合



例:「30秒」を選択した場合



例:「1分」を選択した場合

2. 開扉警報時間設定

送りボタンを押して時間を選択します。送りボタンを押すたびに以下の順で時間の選択状態が切替わります。

“0秒(警報なし)”→“01秒”→“30秒”→“1分”→“2分”→“3分”→“5分”

※出荷時設定:30秒

選択し終わったら、SETボタンを押して設定を完了します。

▶続けて他の項目を設定する場合は

送りボタンを押して設定する項目の画面に切替えてください。

▶設定を完了して運用モードに戻る場合は

運用/設定ボタンを押してください。

6: 施解錠表示灯設定

●設定手順

1. 設定画面表示

設定画面を表示し、送りボタンを押して「6」を選択し、SETボタンを押します。

☞ 設定画面の表示方法⇒「5-2. 設定モードへの切替え」参照

2. 施解錠表示灯設定

送りボタンを押して施解錠表示灯の状態を選択します。送りボタンを押すたびに選択状態が切替わります。

施解錠表示灯の状態	番号
施錠時: 消灯 解錠時: 緑色	0
施錠時: 緑色 解錠時: 赤色	1

選択し終わったら、SETボタンを押して設定を完了します。

▶続けて他の項目を設定する場合は

送りボタンを押して設定する項目の画面に切替えてください。

▶設定を完了して運用モードに戻る場合は

運用/設定ボタンを押してください。

7: 停電時解錠設定

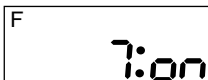
停電時の動作には、オプションのバッテリー装置が必要です。

●設定手順

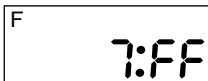
1. 設定画面表示

設定画面を表示し、送りボタンを押して「7」を選択し、SETボタンを押します。

☞ 設定画面の表示方法⇒「5-2. 設定モードへの切替え」参照



「有り」を選択した場合



「無し」を選択した場合

2. 停電時解錠設定

送りボタンを押して停電時解錠の有無を選択します。送りボタンを押すたびに選択状態が切替わります。

設定	説明
有り	停電時、連続解錠となります。
無し	停電時、通常動作のままとなります。

選択し終わったら、SETボタンを押して設定を完了します。

▶続けて他の項目を設定する場合は

送りボタンを押して設定する項目の画面に切替えてください。

▶設定を完了して運用モードに戻る場合は

運用/設定ボタンを押してください。

8: 制御盤⇄電気錠アダプター通信テスト

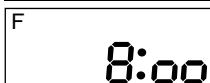
●設定手順

1. 通信テスト実行

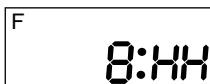
設定画面を表示し、送りボタンを押して「8」を選択し、SETボタンを押します。

通信テストが10秒間行われ、制御盤と電気錠アダプター間で正常に通信がとれているか確認されます。

☞ 設定画面の表示方法⇒「5-2. 設定モードへの切替え」参照



通信が正常の場合



通信が異常の場合

2. 通信テストの結果確認

通信テストの結果を確認します。確認し終わったら、SETボタンを押します。

▶ 続けて他の項目を設定する場合は

送りボタンを押して設定する項目の画面に切替えてください。

▶ 設定を完了して運用モードに戻る場合は

運用/設定ボタンを押してください。

9: セルフチェック

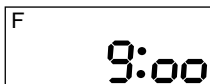
●設定手順

1. セルフチェック実行

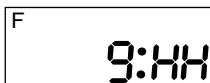
設定画面を表示し、送りボタンを押して「9」を選択し、SETボタンを押します。

セルフチェックが2秒間行われ、内部のメモリが確認されます。

☞ 設定画面の表示方法⇒「5-2. 設定モードへの切替え」参照



メモリが正常の場合



メモリが異常の場合

2. セルフチェックの結果確認

セルフチェックの結果を確認します。確認し終わったら、SETボタンを押します。

※メモリが異常の場合はオールクリアを行ってください。(P.26「オールクリア」参照)

▶ 続けて他の項目を設定する場合は

送りボタンを押して設定する項目の画面に切替えてください。

▶ 設定を完了して運用モードに戻る場合は

運用/設定ボタンを押してください。

10:電気錠動作回数カウント表示

●設定手順

1. 電気錠動作回数カウント表示

設定画面を表示し、送りボタンを押して「10」を選択し、SETボタンを押します。

☞ 設定画面の表示方法⇒「5-2. 設定モードへの切替え」参照

2. カウント状態の確認

回数に応じ、2桁の番号で表示されます。

回数	番号
0回	--
1～10,000回	00
:	:
980,001～990,000回	98
990,001回以上	99

確認し終わったら、SETボタンを押します。

▶続けて他の項目を設定する場合は

送りボタンを押して設定する項目の画面に切替えてください。

▶設定を完了して運用モードに戻る場合は

運用/設定ボタンを押してください。

11:解錠不良回数カウント表示

●設定手順

1. 解錠不良回数カウント表示

設定画面を表示し、送りボタンを押して「11」を選択し、SETボタンを押します。

☞ 設定画面の表示方法⇒「5-2. 設定モードへの切替え」参照

2. カウント状態の確認

回数に応じ、2桁の番号で表示されます。

回数	番号
0回	--
1～10回	00
:	:
981～990回	98
991回以上	99

確認し終わったら、SETボタンを押します。

▶続けて他の項目を設定する場合は

送りボタンを押して設定する項目の画面に切替えてください。

▶設定を完了して運用モードに戻る場合は

運用/設定ボタンを押してください。

12: 施錠不良回数カウント表示

● 設定手順

1. 施錠不良回数カウント表示

設定画面を表示し、送りボタンを押して「12」を選択し、SETボタンを押します。

☞ 設定画面の表示方法⇒「5-2. 設定モードへの切替え」参照

2. カウント状態の確認

回数に応じ、2桁の番号で表示されます。

回数	番号
0回	--
1～10回	00
:	:
981～990回	98
991回以上	99

確認し終わったら、SETボタンを押します。

▶ 続けて他の項目を設定する場合は

送りボタンを押して設定する項目の画面に切替えてください。

▶ 設定を完了して運用モードに戻る場合は

運用/設定ボタンを押してください。

13: 開扉警報回数カウント表示

● 設定手順

1. 開扉警報回数カウント表示

設定画面を表示し、送りボタンを押して「13」を選択し、SETボタンを押します。

☞ 設定画面の表示方法⇒「5-2. 設定モードへの切替え」参照

2. カウント状態の確認

回数に応じ、2桁の番号で表示されます。

回数	番号
0回	--
1～10回	00
:	:
981～990回	98
991回以上	99

確認し終わったら、SETボタンを押します。

▶ 続けて他の項目を設定する場合は

送りボタンを押して設定する項目の画面に切替えてください。

▶ 設定を完了して運用モードに戻る場合は

運用/設定ボタンを押してください。

14:こじあげ回数カウント表示

●設定手順

1. こじあげ回数カウント表示

設定画面を表示し、送りボタンを押して「14」を選択し、SETボタンを押します。

☞ 設定画面の表示方法⇒「5-2. 設定モードへの切替え」参照

2. カウント状態の確認

回数に応じ、2桁の番号で表示されます。

回数	番号
0回	--
1～10回	00
981～990回	98
991回以上	99

確認し終わったら、SETボタンを押します。

▶続けて他の項目を設定する場合は

送りボタンを押して設定する項目の画面に切替えてください。

▶設定を完了して運用モードに戻る場合は

運用/設定ボタンを押してください。

15:電気錠動作回数リセット

●設定手順

1. 設定画面表示

設定画面を表示し、送りボタンを押して「15」を選択し、SETボタンを押します。

☞ 設定画面の表示方法⇒「5-2. 設定モードへの切替え」参照

2. 電気錠動作回数リセット

送りボタンを5秒以上長押します。電気錠動作回数がリセットされます。

リセットが終わったら、SETボタンを押します。

▶続けて他の項目を設定する場合は

送りボタンを押して設定する項目の画面に切替えてください。

▶設定を完了して運用モードに戻る場合は

運用/設定ボタンを押してください。

16:全警報回数リセット

全警報回数とは、解錠不良回数、施錠不良回数、開扉警報回数、こじあけ回数の総称です。

●設定手順

1. 設定画面表示

設定画面を表示し、送りボタンを押して「16」を選択し、SETボタンを押します。

☞ 設定画面の表示方法⇒「5-2. 設定モードへの切替え」参照

2. 全警報回数リセット

送りボタンを5秒以上長押しします。全警報回数リセットがリセットされます。

リセットが終わったら、SETボタンを押します。

▶続けて他の項目を設定する場合は

送りボタンを押して設定する項目の画面に切替えてください。

▶設定を完了して運用モードに戻る場合は

運用/設定ボタンを押してください。

オールクリア

オールクリアを行うと、現在時刻、電気錠動作回数および全警報回数以外が工場出荷時の設定値となります。

●設定手順

1. 制御盤の電源をOFF

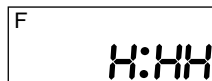
☞ 電源スイッチの位置⇒「2-1. 制御盤」内部配置図⑨参照

2. オールクリア実行

運用/設定ボタン、送りボタン、SETボタンの3つを同時に押しながら電源をONにします。
5秒経過後、オールクリアが完了します。



結果が正常の場合



結果が異常の場合

3. オールクリアの結果確認

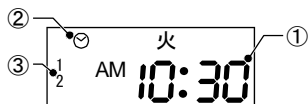
オールクリアの結果を確認します。

確認し終わったら、電源をOFFにし、もう一度電源をONにします。

6. 運用方法

6-1. 運用モードの表示

タイマーによる解錠中の表示



現在時刻が表示されます(①)。タイマーによる解錠中は、LCD画面に「○」が表示されます(②)。
当日に解錠予定があるタイマーの時間帯(設定されている1～3の時間帯)が表示されます(③)。

エラー発生時の表示

エラーが発生している場合は、LCD画面にエラーの内容が復旧するまで表示されます。複数のエラーが発生している場合は、優先度が高いエラー情報が表示されます。優先度は以下のとおりです。

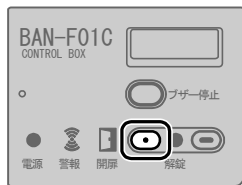
通信異常 > こじあけ > 施錠エラー > 解錠エラー > 開扉警報

※エラーの内容や表示、復旧については「9. トラブルシューティング」をご参照ください。

6-2. 解錠操作

通常の解錠操作は、「2-1. 制御盤」にあるボタンで行います。一回解錠ボタンと連続解錠ボタンを1個ずつ装備しています。

一回解錠ボタン操作



操作	モード	電気錠の動作	
		操作直後	その後の施錠
一回解錠 ボタンを 押す	Aモード (自動施錠 モード)	設定した時間 だけ解錠	自動的に施錠 ・設定した時間以内に扉の開閉を行うと、 扉を閉めた時点で施錠します。
	Bモード (施錠状態 返しモード)	施錠状態 →解錠 解錠状態 →施錠	ボタンを押すたびに施錠を繰り返す。

※ボタン操作以外に、外部からの一回解錠入力による操作も同様の動作です。

連続解錠ボタン操作



操作	モード	電気錠の動作	
		操作直後	その後の施錠
連続解錠 ボタンを 押す	Aモード (自動施錠 モード)	連続解錠	連続解錠ボタンを再度押すと施錠 ・扉の開閉を行っても施錠しません。 ・扉が開いている状態で連続解錠ボタン を押しても、施錠されません。必ず扉を 閉めてから連続解錠ボタンを押してくだ さい。
	Bモード (施解錠繰 返しモード)	施錠状態 →解錠 解錠状態 →施錠	ボタンを押すたびに施解錠を繰り返す。

※ボタン操作以外に、外部からの連続解錠ワンショット入力による操作も同様の動作です。

6-3. タイマー保留付きモードの動作

「解錠操作」で説明したモードのほかに、タイマー保留付き自動施錠モード(PAモード)とタイマー保留付き施解錠繰返しモード(PBモード)があります。

電源投入時のタイマー解錠入力の動きが異なる以外は、自動施錠モード(Aモード)や施解錠繰返しモード(Bモード)と同様の動きです。

※Aモード/Bモードは電源投入時にタイマー解錠時間中だとタイマー解錠しますが、PAモード/PBモードの場合は解錠をせず施錠のまま解錠保留状態となります。

※Aモード/Bモードは電源投入後にタイマー解錠に入るとタイマー解錠しますが、PAモード/PBモードの場合は解錠をせず施錠のまま解錠保留状態となります。

※解錠保留状態は、一回解錠または連続解錠操作を行うことで解除され、保留解除後は電源を再投入するまで、通常の動作に戻ります。

6-4. 簡易時刻設定

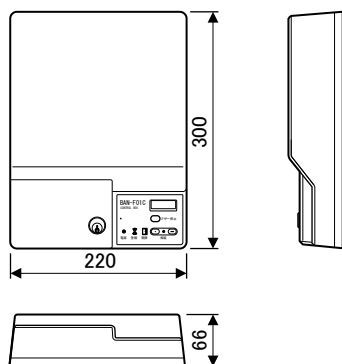
運用/設定ボタンを長押しし、「ピー」と鳴動中(2秒間以内)に連続解錠(SET)ボタンを押す(運用/設定ボタンは押したまま)と、正時リセット(0～29分のときは切捨て、30～59分のときは繰上げ)が行われます。

例: 10:02のとき→10:00にリセット。

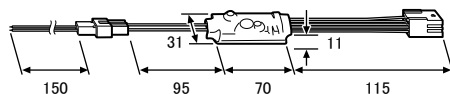
例: 10:58のとき→11:00にリセット。

7. 仕様

●制御盤 BAN-F01C



●付属品 電気錠アダプター BAN-FCAD



項目		仕様
構成	回線数	1回線
	外形寸法	220(W)mm × 300(H)mm × 66(D)mm
	重量	約900g
	材質	難燃性ABS(UL94 V-0)
	成型色	ライトグレー艶消(マンセルN-8.0近似色)
電気の仕様	電源電圧	AC100V±10% 50/60Hz
	消費電力	13W
	通信方法	2線式電力線通信(制御盤-電気錠アダプター間)
	表示灯表示	電源: 緑色(AC100V動作時)または赤色(バッテリー動作時)
		警報: 橙色
		開扉: 赤色
		施解錠: 緑色または赤色(設定による)
	操作スイッチ	一回解錠ボタン: タクトスイッチ
		連続解錠ボタン: タクトスイッチ
		運用/設定ボタン: タクトスイッチ
		ブザー停止ボタン: タクトスイッチ
		電源スイッチ: 単極スライドスイッチ
		バッテリー設定スイッチ: 単極スライドスイッチ
外部入力	一回解錠入力	無電圧a接点(ワンショット)
	連続解錠入力(瞬時)	無電圧a接点(ワンショット)
	連続解錠入力(連続)	無電圧a接点(連続)

項目		仕様	
外部出力	操作表示器	電源表示出力	GND
		開扉表示出力	オープンコレクタ
		解錠表示出力(緑)	オープンコレクタ
		解錠表示出力(赤)	オープンコレクタ
	リレー出力 (C-U11RY必要)	解錠出力	無電圧c接点
		開扉出力	無電圧c接点
		警報出力	無電圧c接点
JEM-A入出力		制御入力	無電圧a接点(ワンショット)
		モニター出力	オープンコレクタ
インターホン入力			無電圧a接点(ワンショット/連続)※1
警報出力			無電圧a接点(連続)
リモート(自動扉)出力			無電圧a接点(連続)
設定	時刻設定	時、分、曜日が設定可能	
	タイマー時間帯設定	3種類のタイマー時間帯を設定可能 月～日までの任意の曜日を設定可能	
	ブザー設定	ON/OFFの設定可能	
	電気錠動作モード設定	自動施錠モード(Aモード)、施解錠繰り返しモード(Bモード)、 タイマー保留付き自動施錠モード(PAモード)、 タイマー保留付き施解錠繰り返しモード(PBモード)が設定可能	
	電気錠種設定	電気錠種を設定	
	一回解錠時間設定	1・5・10・20・30・60秒の設定が可能	
	開扉警報時間設定	警報なし・1秒・30秒・1分・2分・3分・5分の設定が可能	
	施解錠表示灯設定	施錠時と解錠時の表示灯点灯設定が可能	
	停電時解錠設定	停電時解錠有り・無しの設定が可能	
配線距離	制御盤⇄電気錠	150m(電気錠により異なる場合があります)	
	制御盤⇄操作表示器	100m	
	対応電線	CPEV φ0.9/φ1.2	
使用環境	温度	0℃～40℃	
	湿度	35～80%RH(結露なきこと)	
	設置環境	屋内専用	
オプション	デジタルテンキーI/Fユニット T-3830IF	いずれか1点内蔵可能	
	CANユニット AIR-cfA		
	リレーユニット C-U11RY	内蔵可能	
	リレー1個乗り基板 TR-01A	内蔵可能	
	バッテリー装置 BAN-F01C・02C BATT	内蔵可能	

※1 入力が連続マイク中は解錠を継続し、ブレイク時点より1回解錠動作に移行する。

8. 対応電気錠

対応可能な電気錠を以下に示します。

電気錠タイプ	電気錠種類						
	美和ロック株式会社	株式会社ゴール	合資会社堀商店	株式会社ユーシン・ショウワ	ロックマンジャパン株式会社	株式会社シブタニ	株式会社ウエスト
通電時解錠型電気錠	ALT/ALTA AMT/AMTA AUT/AUTA ※1 ALGT50	EST/ESTP ELT/ELTP EUT/EUTP ※1 ESB/ELB ESM/ELM EXM/CMT	6110 6120 6210 6220			C-EN-55 AEN※1	
通電時解錠型 電気ストライク	AST		3103 3106				
通電時施錠型電気錠	ALR/ALRA AMR/AMRA AUR/AURA ※1 ALGR50	ESR/ESRP ELR/ELRP EUR/EURP ※1 CMR	6112 6122 6212 6222			C-EE-55 AEE※1	
通電時施錠型 電気ストライク	ASR		3123 3126				
瞬間通電施解錠型 電気錠(有極)	ALA ANS AUS ALG50	EXS EZS	6111 6121 6211 6221			C-ER-55	
瞬間通電施解錠型 電気錠(無極)	ALS AMS						
モーター式施解錠型 本締電気錠	AL3M AFF	AHEM EM SXE		EMX			E05
電磁錠					LC-4500DL SS		
自動扉	開扉入力ありの場合： 電気錠アダプターの先に自動扉アダプターを接続し、自動扉アダプターからの接点出力を使用する。※2 開扉入力なしの場合： リモート出力(自動扉出力)からの接点出力を使用する。※3						

※1 AUT/AUTA/AUR/AURA, EUT/EUTP/EUR/EURP, AEN/AEEは、それぞれ同一電気錠のため、錠種の設定をする場合には電気錠側の設定に従ってください。

※2 電気錠の錠種設定を「7」とした場合

※3 電気錠の錠種設定を「8」とした場合

注意 自動扉(開扉入力なし)の場合、開扉警報が発生しませんのでご注意ください。

9. トラブルシューティング

電気錠または扉に異常が発生した場合は、ブザー音が鳴動し、警報アイコン表示灯がブザー音に合わせて橙点灯または橙点滅することで異常を知らせます。下表をもとに異常を復旧させてください。

発生警報	LCD画面	ブザー音	警報内容	復旧方法
開扉警報	E:OP	ピー	設定した開扉警報時間以上、扉が開いている場合に発生。	扉を閉めてください。
解錠不良	E:UL	ピ、ピ、ピ、…	解錠操作した際、電気錠が解錠動作しない場合に発生。	電気錠を正常に解錠してください。
施錠不良	E:LO	ビビッ、ビビッ、…	以下の状況にて、電気錠が施錠動作しない場合に発生。 ・電気錠が異なるとき ・施錠操作したとき ・自動施錠されたとき	電気錠種を見直し、電気錠を正常に施錠してください。
こじあけ	E:FO	ピーツ、ピーツ、ピーツ、…	施錠状態で扉が開いた場合に発生。	制御盤の操作ボタンを押して解錠してください。
通信異常	E:Ao	ピッ (1秒間隔)	制御盤と電気錠アダプター間で通信が全できない場合に発生。	制御盤の端子台の配線と電気錠アダプターの配線を確認してください。
通信不良	E:An	無音 (警報アイコン表示灯のみ2秒間隔で点滅)	制御盤と電気錠アダプター間で通信が不安定な場合に発生。	制御盤と電気錠アダプター間にノイズを発生する機器がないか確認してください。
ボタン短絡	E:CS	ビビビッ、 ビビビッ、 …	ボタンが30秒以上、押し続けられている場合に発生。	ボタンから手を離してください。 ボタンを離しても直らない場合は、ボタンが押され続けている状態や故障が考えられます。ボタンを押していない場合は、カバーを閉じ直してください。
外部入力短絡	E:CL	ビビビビッ、 ビビビビッ、 …	操作表示器のボタンが30秒以上、押し続けられている場合に発生。	ボタンから手を離してください。 ボタンを離しても直らない場合は、ボタンが押され続けている状態や故障が考えられます。ボタンを押していない場合は、操作表示器の配線を見直してください。

設定記入表(設定控え)

施工の後は機器の設定内容を以下の表に記載してから本取扱説明書をお客様にお渡しください。

設定番号	設定項目	工場出荷時設定値		設定
—	現在時刻設定	表示なし	-:-	
0	タイマーによる解錠設定	設定なし	0:-	
1	ブザー音有無設定	ブザー音有効	1:on	
2	動作モード設定	Aモード	2:-A	
3	電気錠種設定	通電時解錠型電気錠	3:-0	
		20万回警告なし	A:FF	
4	解錠時間設定	10秒	4:10	
5	開扉警報時間設定	30秒	5:30	
6	施解錠表示灯設定	施錠時: 緑色、解錠時: 赤色	6:-1	
7	停電時解錠設定	停電時解錠なし	7:FF	

保守契約・サービスについて

この度は、本機をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。当社では安定した状態で、本機をお使いいただくために保守契約を行い、お客様に定期的な保守サービスを提供しております。
また、万一故障した場合の緊急時の呼び出し等に対してもスポット対応を行っております。
保守契約・緊急時のスポット対応についてのお問い合わせは、最寄りの各地営業所・出張所へお問い合わせ願います。

連絡先: アートサービス株式会社
TEL: 044-422-1081

保証書は添付されておりませんので以下をご参照ください。
お客様へお渡し日より1年間、弊社保証規定に従い無償修理を行います。
お問い合わせ先: 株式会社アート E-mail: hinsyo@art-japan.co.jp
保証について: URL: <http://www.art-japan.co.jp/products.html>